

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

当期から「公益法人会計基準の改正等について」（平成16年10月14日 公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議申合せ）を適用している。

- (1) 有価証券の評価基準および評価方法  
総平均法による原価基準を採用している。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
定率法による減価償却を実施している。
- (3) 引当金の計上基準  
賞与引当金・・・職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (4) リース取引の処理方法  
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンスリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (5) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 会計方針の変更

該当無し

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	29,911,020	44,190	0	29,955,210
定期預金	88,980	0	44,190	44,790
小 計	30,000,000	44,190	44,190	30,000,000
特定資産				
構築物	453,222,313	0	208,530,703	244,691,610
退職給付引当資産	195,000	0	195,000	0
自主事業積立資産	29,453,143	280,318	0	29,733,461
財務調整積立資産	4,703,962	3,416,559	0	8,120,521
小 計	487,574,418	3,696,877	208,725,703	282,545,592
合 計	517,574,418	3,741,067	208,769,893	312,545,592

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	29,955,210	(29,955,210)	(0)	-
定期預金	44,790	(44,790)	(0)	-
小 計	30,000,000	(30,000,000)	(0)	-
特定資産				
構築物	244,691,610	(50,943,253)	(193,748,357)	(0)
自主事業積立資産	29,733,461	(0)	(29,733,461)	-
財務調整積立資産	8,120,521	(0)	(8,120,521)	-
小 計	282,545,592	(50,943,253)	(231,602,339)	(0)
合 計	312,545,592	(80,943,253)	(231,602,339)	(0)

5. 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
構築物	453,222,313	208,530,703	244,691,610
合 計	453,222,313	208,530,703	244,691,610

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	1,640,933	0	1,640,933
合 計	1,640,933	0	1,640,933

8. 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務はない。

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格，時価及び評価損益  
満期保有目的の債券はない。

10. 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高  
補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
振興事業補助金	函館市	0	16,000,000	16,000,000	0	-
運営事業補助金	函館市	0	27,352,396	27,352,396	0	-
函館市民スケート場運営事業補助金	函館市	0	55,541,858	55,541,858		
函館市民スケート場改修事業補助金	函館市	100,508,074		49,564,821	50,943,253	指定正味財産
助成金						
民間助成金	日本芸術文化振興会等	0	6,385,580	6,385,580	0	-
スケート場設備等整備助成事業等	車輛競技公益資金記念財団	352,714,239	0	158,965,882	193,748,357	一般正味財産
合 計		453,222,313	105,279,834	313,810,537	244,691,610	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳  
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は，次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
当年度減価償却費計上による振替額	4,071,059
経常外収益への振替額	
過年度減価償却費計上による振替額	45,493,762
合 計	49,564,821

12. 関連当事者との取引の内容  
関連当事者との取引はない。

13. 重要な後発事象  
重要な後発事象はない。

14. その他

(1) リース取引関係

) リース物件の所有権が借り主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

リース物件の取得価格相当額，減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

(単位：円)

内 容		取得価格 相当額	減価償却累計額 相当額	期末残高 相当額
器具及び備品				
財務会計システム等一式	市民会館等	40,779,900	34,662,915	6,116,985
コインロッカー	市民体育館	15,468,760	13,792,974	1,675,786
コインロッカー	市民プール	7,182,000	4,788,000	2,394,000
コインロッカー	市民スケート場	3,780,000	3,360,000	420,000
券売機	市民プール	3,005,100	2,554,335	450,765
券売機	旧函館区公会堂	6,940,080	3,470,040	3,470,040
合 計		77,155,840	62,628,264	14,527,576

未経過リース残高相当額

1年内	13,241,986
1年超	1,285,590
計	14,527,576

減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし，残存価格を零とする定額法によっている。